

インテリアへの関心強化 鹿児島組合体験技能教室開催

鹿児島県室内装飾事業協同組合(椎原孝二理事長)はこの1月中、小学生に技能を体験してもらう「ジュニアマイスター教室」(技能体験教室)を2回相次いで開催した。

組合では毎年度、教室を開催しているが、「子供たちに体験学習を通じてインテリアへの関心を強めてもらうことが励みになる」(組合)と積極的に取り組んでいる。

1月22日にいちき串木野市立串木野小学校、1月30日に曾於市立末吉小学校の2校でそれぞれ実施した。

いちき串木野市立串木野小学校には田中副理事長や両理事、川薩支部員が、曾於市立末吉小学校には、椎原理事長、小村技能委員長、田中副理事長などが参加した。

生徒たちは「お気に入りフォトスタンド」のタイル下地に硬質塩ビタックシートを貼り好みの色に仕上げる。

具体的には使用材料はビニルタイル、硬質塩ビタックシート(3~5種類)、下絵、イニシャル文字などで、ビニルタイルに貼る→圧着下絵製作→下絵を貼る→仕上げの順でフォトスタンドを製作する。

曾於市立末吉小学校の体験教室に参加した椎原理事長は「組合員4名と一緒に2時間汗だくで奮闘し仕上げたフォトスタンドに写真を飾って完成の喜び顔を見せる生徒さんに、インテリアへの関心を持ってもらえた」と話している。



日装連新聞(第442号)より引用